



まくべこ

わたしたちのまち

(昭和61年3月1日現在)

人口	21,648	(+5)
男	10,632	(+3)
女	11,016	(+2)
世帯数	6,602	(+8)
一人のうごき(2月中)	—	
転入	67人	転出 69人
出生	21人	死亡 14人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



子どもたちの無事故を願って

「4月は新入学児童がいますので特に気を使いますね」と話すのは齊藤京子さん(札幌市青葉区・46歳)です。昭和56年4月から、白人小学校前で交通安全指導員をしています。「この道路は30キロ制限なのですが、ほとんどの車が守っていませんね」。子供たちには優しく、ドライバーにはチョッピリ厳しい齊藤さんです。

61年 **4**

No.411

61年度予算決まる

春らしい躍動が街を包んでいる4月です。町づくりも、新年度予算を基に動き出しました。61年度予算の規模は、昨年と比べ7億8千万円多い、120億5千万円(全会計)です。

3月10日から、定例第一回町議会が開かれました。林町長、黒川教育委員長は、どんな「幕別の1年間」を描いているのでしょうか。町づくりにかける意気込みを紹介します。



明野ヶ丘公園の展望広場から見た幕別市街

札内北地区にコミセン建設

一般会計は七十四億七千万円

財政調整基金から

三億円を繰り入れ

町長に就任して四年目を迎えました。この間、明日の幕別を創るために町民一人ひとりの声を大切にしながら、すべての町民で創る町政を進めてまいりました。今後、町民の皆さんとともに、これまでの実績のもとに英知を結集し、「生きる喜びを創造するまち」の実現に一層の飛躍を目指して、力強く歩みを進めなければならぬと考えています。

今年には開基九十年という節目の年にあたります。明治二十年六月、猿別市街に戸長役場が設立されて以来、多くの苦難を克服し、理想郷の実現に力を注ぎ、今日の幕別町を築きあげられた先人の遺徳をしのび、町民の皆さんとともに感謝を申し上げます。

本町の財政状況は、六十年年度末で財政力指数三〇・八%、経常収支率七九%、地方債制限比率十六・二%、債務負担行為比率四・二%と見込まれます。財政構造の硬直

化が一段と進み、弾力性が低下しています。効率的な事務推進体制の確立により、経常経費の節減を一段と図ってまいります。

六十一年度予算の一般会計は、七十四億七千九百九十九万七千円(前年度当初予算に比べ一・七%増)です。

行政水準の低下を防ぎ、事業量を確保するため、財政不足の事態に備え蓄えてあります財政調整基金から三億円の繰り入れを見込み、七億二千万円余りの起債を充当します。投資的経費は、義務教育施設整備が終わったことにより補助事業分が減額になりましたが、単独事業が増加した結果、全体では二十二億六千五百万円となり、前年度と比べて八千六百万円のマイナ

スにとどまりました。

特別会計(九会計)は、四十五億七千八百三十八万八千円(十六・五%増)です。

当初予算総額は、百二十億四千九百三十五万五千円(六・九%増)になりました。

以下、主な施策について申し上げます。

継続事業として

葬斎場を建設

道路整備 一般町道、都市計画街路、農道を含め改良四十本、舗装四十七本、歩道整備五本の工事を行います。工事総延長は四十三・三キロメートルになります。六十一年度事業完了時点では改良率四三・六%、舗装率二五・九%になります。

住宅 年々増大してきた住宅需要でありましたが、近年はある程度満たされてきて、公営住宅の入居希望者も減少の傾向が見られます。このため本年度は、老朽化した寿町の昭和二十九年建設の二十戸を解体し、現在地に二棟十

二戸を建設します。

下水道事業 環境浄化を目指す幕別・札内市街地区の下水道事業が進ちよく中です。幕別地区は、一般公共下水道として、五十九年度から供用を開始しています。本年度は宝町、緑町の枝線工事を行います。水洗化事業については、公営住宅九十六戸、個人住宅百戸を目標にして普及に努めてまいります。この結果、六十一年度末では対象戸数一千四百四十戸のうち九百五十八戸が水洗化することになり、六六・五%の普及率となります。

札内地区は、十勝川流域下水道事業として、現在順調に工事が進行しています。本年度は、春日町の圧送管、汚水幹線、枝線工事を行います。

水道事業 札内北地区区画整理事業の道路造成に併せて、約八千以上の配水管布設を行います。また、水洗化による給水量の増大に対応できるよう既存施設の整備改善を図り、併せて給水戸数の増加に努めてまいります。

区画整理事業 区画整理区域内における補助対象幹線街路の造成については、ほぼ完了しましたので、今後は生活道路である区画道路の本格的な造成に着手し、早期事業完成に努めてまいります。

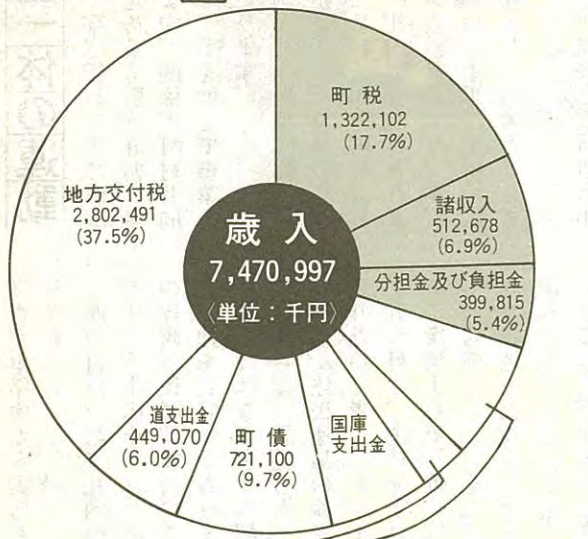
公園 公園、緑地については、補助枠が制限されており計画どおりに進行しませんが、本年度も引き



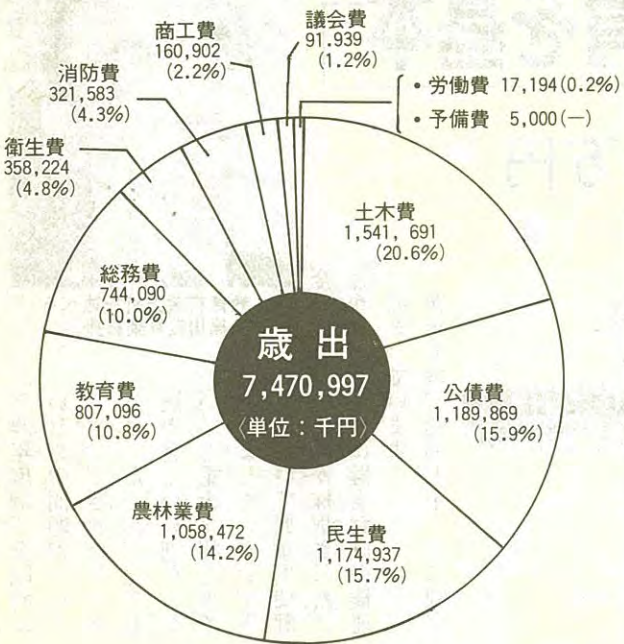
施政方針を述べる林町長

一般会計予算の構成

自主財源 (37.3%)
 依存財源 (62.7%)



- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 地方譲与税 145,000 (2.0%) 自動車取得税交付金 83,000 (1.1%) 誤楽施設利用税交付金 22,000 (0.3%) 交通安全対策特別交付金 2,200 (-) 国有提供施設等所在市町村助成交付金 400 (-) | <ul style="list-style-type: none"> 繰入金 300,000 (4.0%) 使用料及び手数料 173,088 (2.3%) 財産収入 75,024 (1.0%) 繰越金 200 (-) 寄付金 50 (-) |
|---|--|



在宅ねたきり老人家庭見舞金の引き上げ、老人クラブ補助金の引き上げを行います。また、老人福祉センター環境整備として、お年寄りの手によるシルバー庭園の造成を行います。

児童福祉 常設六カ所、へき地十カ所の保育所のほか、肢体不自由児通園訓練施設、言語教室など保育活動の充実に努めてまいります。

(次のページに続く)

続き明野ヶ丘公園の整備を行います。また、新たに東緑町団地の緑央公園の整備を行います。

交通安全・防災・防犯 昨年は交通事故による死者数が六人という異常な事態でした。全町民が一丸となつて、悲惨な交通事故の撲滅に一層の努力を続けてまいりたいと思います。幕別本通り、札内十号線、日新線、若草七号の歩道新設・整備を行い、歩行者の安全確保に努めます。

防犯灯、街路灯については、地域と十分協議しながら設置します。消防車の更新、消火栓・防火水槽の整備を消防事務組合の事業として進めます。

養育場の建設 昨年着工し継続

事業として本年六月完成を目指し、順調に工事が進んでいます。九月供用開始に合わせて道路整備と環境整備を行います。

コミュニティセンターの建設 子供からお年寄りまで、町民が幅広く地域社会づくりに参加できるように、その拠点となるべきコミュニティセンターを児童館との複合施設として札内北地区に建設します。

札内東工業団地の造成と分譲

農業の振興 生産性の高い農業を育てるため、生産基盤の整備を引き続き実施してまいります。既

に国営、道営、団体営が完了している事業は九十二億円、進行中のは四百十四億円です。六十一年度は、三十二億八千万円の事業が行われます。新規着工としては、道営事業の明倫地区畑細土地改良事業、札内農協主体による団体営古舞地区土地改良総合事業があります。

畜産につきましても、馬産振興のために、町営牧場の一部を馬の放牧地として確保する準備を進めています。

商工業の振興 公社事業として、札内東工業団地の造成に今春から着手し、併行して分譲を行い、町内企業の集約化を図ります。地場産業を振興させる特産品の

開発が望まれますが、特産品開発推進協議会の活動の助長と、生活に密着した小さなアイデアの商品化などに取り組んでまいりたいと考えています。

町の活性化、観光の振興として定着した冬まつり、芝桜まつり、サマーカーニバル、産業まつりなどが、さらに多くの町民参加のもとに開催されることを期待しています。

帯広市の近郊ということもあって、消費の町外流出は宿命的とはいえ、著しいものがあります。商工会に対する援助をダウンさせない配慮を続けながら、工事、物品の発注は町内優先の姿勢を堅持してまいります。

老人健康増進

センターを建設

福祉・医療 高齢化社会の到来に伴い、総人口に占める六十五歳以上の老人の割合は、昭和六十年には一〇・三%であるものが九十五年には二一・八%に達すると予測されます。

老人医療費については、町の単独施策として入院についてのみ、無料化を実施してまいりましたが、ますます増加する老人医療の動向や、在宅療養者との負担の均衡などを考慮して、六月から無料化を廃止して有料としたしくご理解をいただきます。

第二札内橋建設に

官民一体の運動

広域事業 今、行政の中で広域的に仕事を進める分野が非常に多くなっています。関係市町村共同の利益のため、手を携えて事業を促進してまいります。

一つは、国営札内川地区総合かんがい排水事業です。将来の農業用水確保のために一市三町村（幕別、更別、中札内）で実施されます。本年度調査設計に入り、本町では弘和、駒島、中里、美川地区の三千七百九十戸が対象となります。

二つ目は、十勝中部広域水道事業です。一市六町村による広域水道企業団の事業として、本年度は途別豊岡線及び札内高台線沿いに、管経六百ミリ七百ミリの送水管を約四千メートル布設いたします。

三つ目は、十勝中央地区広域農道整備事業であります。現在十勝中央大橋が建設中です。それに



架橋工事が進む十勝中央大橋

伴う取り付け道路の用地確保と、稲志別上稲志別間の第三期地区の調査が本年度から実施される見込みです。

四つ目は、第二札内橋の架橋促進です。帯広市をはじめ東部四町の行政と民間期成会のご協力を得て運動を展開中ですが、実現までにはなお多くの解決しなければならぬ問題もあります。ねばり強く住民運動の輪を広げてまいります。

五つ目は、国鉄赤字ローカル線第二次廃止対象路線の広尾線廃止への対応です。沿線七市町村で構成する地方交通線対策協議会では、国鉄から示されていた第二セクター方式では、初年度から四億円の赤字となることから、鉄路存続を断念し、バス転換の方針を決めました。今後はバス転換の手続きやバス路線、便数、転換交付金の使途など具体的な内容を国鉄当局と協議を進めることとなります。

幕別の夜明けを開いた先人は、力の限りを未開の大地に注ぎこみ、今日の姿を築きあげました。今に生きる私たちは、その歴史と風土を引き継ぎ、これを今の厳しい時代に生かしていくべき責任があります。本町でも一段と厳しい財政状況ではありますが、町民の皆さんと心を一つにしながら前進していく決意でありますので、ご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

人づくりと生涯教育を基本

教育予算は8億709万円



教育行政方針を述べる
黒川教育委員長

昨年度は、全国的にいじめの問題がクローズアップされた年でありました。都市化の進展が著しい幕別町においても重大な関心事でありました。幸い、議会において児童生徒健全育成の町の決議が採択されたことから、全町の健全育成の機運が高まっています。

新年度は、昭和五十一年に制定



水泳プールが建設される糠内小学校

新年度の教育予算総額は、八億七千九百六千万円で前年度と比べて三億九千六百万円の減ですが、これは主に学校建築費の差によるものです。

学校教育 古舞小学校の児童数増加に対応するものとして、一教室の増築を行います。また、児童生徒の健康の増進、体力の向上を目指し、さらには地域住民の活用も期待して糠内小学校に水泳プールを建設します。二十五日プールで七月末の完成を予定しています。

社会教育 青少年の健全育成については、必須の課題であることから、相談員制度を設置し幅広い活動を展開したいと考えています。また、家庭教育学級の開設増を図るほか、婦人短期大学の開設を予定しています。

文化の振興 昨年結成された町民芸術劇場や、混声合唱団などの文化・芸術団体の自主的な活動を支援するとともに、文化講演会や芸術公演を開催し、地域文化の高揚を図ります。

された教育目標の改定を行います。町づくりの原点は人づくりにあり、人づくりは家庭、学校、地域の連携によって推進すべきものとの観点から、生涯学習をねらいとし、新たな指針の策定を町教育研究所に諮問しています。

社会体育 町民が広くスポーツに親しむための条件づくりを進めます。新年度は勤労者の方々が活用できるように、運動公園のソフトボール場に夜間照明を設置します。また、多くの人に親しまれているグラウンドゴルフ等の一層の普及を図ります。

始めてみませんが あなたの公区でも



住民主体の大会は今回で4回目を迎えました

第九回「明るいまちづくり」住民大会が、三月九日に町民会館で、百二十人が参加して開かれました。この大会は「手づくりのまち推進委員会」が主催し、住民主体の大会は、今回で四回目を迎えました。

この大会は、「住みよい活力のある町」をつくるため、住民自らが日ごろ考えていることや、力を出し合おうというものです。

まず始めに事例発表があり、引き続き元緑陽高校校長で昨年五月から今年一月まで中国の黒竜江大学で日本語を教えていた黒沼友一さん（札内文京町）による講演がありました。午後からは分科会が行われ、まちづくりについて積極的な意見が述べていきました。

事例発表 廃品回収とおまつり りで地域づくり

旭町第二公区長・明田章さんは「公区十年のあゆみ」と題して事例発表を行いました。同公区は百八十五戸で構成されていて、三年間の廃品回収で得た益金六十万円が公区内に三十カ所の廃品回収所を設置するなど、積極的に廃品回収運動を展開していると語りました。札内中央町第二公区長・加藤喜代房さんは、「公区とおまつり」と題して、おまつりをおまつりの地域づくりを語りました。同公区では、昭和五十二年ごろから連合公区で山車を作り、子どもたちを中

心に町内を練り歩いたり、特別養護老人ホーム札内寮を訪門するなど、地域に溶け込んだ行事としてすっかり定着していると語りました。

講演 一家一品、一人一 文化運動の展開を

黒田友一さんは「心豊かな郷土と家庭と地域づくりを目指して」と題して講演をしました。主な内容は次のとおりです。

- 広大な国土と十億の人口を有する中国の替的エネルギーは計り知れないものがある。
- 中国では教育を国家繁栄の最も重要なものとして位置づけている。
- 日本は、独特の精神文化に技術文化が加わり現在の繁栄を築いたが、精神文化が忘れられた結果現在さまざまな社会問題が発生している。
- 地球上で最もすばらしいエネルギーは人間の持っている可能性。
- 「ふるさと」は近きにあるもの。
- 一村一品から一家一品、一村一文化から一人一文化への展開が必要。

分科会 貴重な意見をステ ップに地域づくり

◆生活文化の豊かな
地域づくり
町花・町木を制定し
まちづくりに活用
第1分科会

- ①町花・町木の制定
- ▼町民の声をよく聞きながらぜひ制定してほしい。
- ▼制定委員会の設置を町に強く要望したい。
- ▼制定した町花・町木をどのように活用していくのか、先に定義づけすることが必要。
- ▼町花・町木ばかりでなく、町鳥も考えては。

- ②きれいな環境づくり
- ▼公区の費用で通学路に花を植えたところ、子供たちが大変喜んでくれた。
- ▼温泉の廃水を利用して、町で花の苗づくりをしてはどうか。
- ▼庭に小鳥のえさ台を置いた。いまでは七種類の鳥が集まってきて、生活に潤いをもたらしてくる。

◆住民の福祉と
未来の地域づくり
子どもたちに夢を
与える場の提供を
第2分科会

- ①地域ぐるみの教育環境づくり
- ▼タバコ、酒、性に関する教育が必要。
- ▼いじめに対する精神面の教育を。

◆新しい生活価値観と
環境づくり
生花などの廃止に
真剣な取り組みを
第3分科会

- ▼不用品の回収と子ども会でやっているが、子どもたちが生き生きと取り組んでいる。
- ②青少年の夢を育てる地域づくり
- ▼物を与えることばかりでは、夢は育たない。
- ▼子どもたちに、社会参加やスポーツ交流の場をつくってやること
- ▼明野ヶ丘公園への芝桜の植栽に子どもたちも参加したらいいのでは。

- ①省資源、省エネルギー
- ▼子ども会が主体となって不用品を回収し、子ども会育成資金にしている。
- ▼生ゴミの処理工場を建設し、肥料化してはどうか。
- ▼大量消費の時代だが、物を大切にすることが必要。
- ②冠婚葬祭の簡素化
- ▼葬儀では、生花をやめていただき供花紙を利用していただいている。お供物も公区で購入してあり、貸し出しをしている。
- ▼支庁で販売している二百五十円の供花紙を利用して、その分を香典として喪主の方に渡している。
- ▼生花の廃止については、町と町民とが真剣に取り組むことが必要ではないだろうか。

多彩な催しに八百人が参加

第五回 婦人まつり

町婦人団体連絡協議会（高橋ユキ会長）の主催により「第五回婦人まつり」が三月二日、札内福祉センターで開かれました。今年のテーマは「食生活・健康・そして文化を考える」で、約八百人の婦人でした。

開会式に続いて帯広市の菅野医院院長・菅野二郎さんが「食生活と健康」と題して講演を行い、ガンや高血圧、糖尿病、肥満などと、食生活が密接な関係にあり、食生活の改善が必要と語り、台所をあずかる婦人たちが熱心に聞き入っていました。

いました。

町特産品開発推進協議会も共催となつて前回から始められた手づくり料理コンテストには、イモ、スイートコーン、カボチャを素材にしたユニークな料理五十点が出品されました。林町長らが審査をし、好評な作品十点到に賞が贈られました。

そのほか、八店が出店した一坪シヨップ、バザー、健康相談や町内で活動している文化サークルの人たちによる作品展示、ディスクダンスなども行われ、会場には終

日、婦人たちの熱気がただよっていました。



800人の婦人までにぎわった婦人まつり

農家数は八九一戸

農業基本調査の結果から

昭和六十年北海道農業基本調査農家概況調査の結果、概数がまとまりました。

農家数は依然減少傾向が続き、九百戸を割って八百九十一戸となりました。前年に比べ十五戸の減、昭和五十年と比べ二百十戸の減です。

耕地面積は、一万四千八百五十六畝で前年に比べ三百八畝の増となっています。一戸当たりの平均耕地面積は十六・七畝（前年十六・一畝）でした。

畜産関係では、乳用牛が六千六百九十五頭、肉用牛が一千三百六十七頭で前年と比べ大きな変化はありませんでした。

（調査日：六十一年二月一日）



こまち ともみ
小町 智美さん (23歳)

▼幕別自動車学校 ▲
札内春日町297
毎日が緊張の連続です

今年の2月からここに勤務しています。まだ、わからないことばかりで、毎日が緊張の連続です。休日には、ドライブをしたり、ショッピングやスポーツを楽しんだりしています。スポーツは、冬はスキー、夏は硬式テニスですね。

この自動車学校の卒業生の皆さんが、ひとりも交通事故を起こさないようにと願っています。

こんにちは

12

ふるさとへの便り… ①

野本 弘さん (65歳)
(千葉市原市)



永久に忘れられない第二の故郷

幕別の皆さんお元気で
すか。私と幕別との出会いは、昭和17年頃、道内旅行で新田の社宅に泊め

ていただいていたからです。翌年に新田に就職が決まり、昭和32年に当地を離れるまで13年間楽しくすごさせていただきました。牧場のランブ生活、娘さんとの混浴、友達との麻雀、送別会の「蛍の光」に止若婦人会の人たちと涙のお別れをしたことなど、次から次となつかしく思い出されます。私にとつて幕別は永久に忘れられない第二の故郷です。今後は東京幕別会を通じ、幕別とのつながりを大切にしたいと思っています。（氏は現在、東京幕別会々長です）

開基90年

あつた場所
この場所
今昔

まくべつタイムトンネル ①

今月号から町内の変遷を写真で紹介いたします。今回は、役場庁舎前の移り変わります。



昭和41年頃の写真。若菜橋があり、正面に幕別小学校がありました



現在は、川は埋められて、正面にトレン、右側に町民会館、役場があります



農林水産大臣賞を受彰

西幕別青年会乳牛プロジェクトチーム(リーダー・伊東謙二さん=日新)が、東京で開かれた全国農業者会議で農林水産大臣賞を受賞しました。同プロジェクトチームの8年間にわたる乳牛に関する研究活動が評価されたものです。

乳幼児を持つお母さんたちが自主的に運営している「赤ちゃんクラブ」の終了式が三月十八日、幕別中央会館で開催されました。式典のあとにはバセリ座の人形劇が行われ、走り回っていたチビッコたちもビタリと座り、真剣な目で観賞していました。



人形劇にチビッコ大喜び



綱引き大会に90人



「第一回子ども会対抗綱引き大会」が三月十五日、トレセンで開催されました。幕別子ども会育成連絡協議会が、小学六年生のお別れ会と新一年生の歓迎を兼ねて催したもので、お父さん、お母さんの熱い声援を受け、力の入った試合が展開されました。

千住地区の婦人部による「食生活改善料理講習会」が3月14日、千住生活館で行われました。朝から用意された材料は、集まった主婦12人により、手ぎわよく料理され、昼食会では、出来上りにみんな満足そうでした。

食卓に新しいメニューが



町民みんなの関心事

良い子を育てるために①

町児童生徒健全育成推進委員会

この欄はお宅の子どもさんや、隣りの子どもさんたちが非行の道へはしることなく、明るく素直で、心身とも健康に育ってほしいという願いからできました。今月号から毎回、子育てに関するいろいろなことを載せますので参考にしてください。

親は子どもの鏡です

子育て論は、結局親の生き方論です。その訳は、親は子どもの鏡だからです。子どもは親のすることをまねて大きくなるのですから、なんといつても親が問題になるのです。

数年前ですが、中学校三年生の女の子がこんな川柳をつくりました。

何事も努力せよと親ごころり
私はこれを読んでびっくりしました。痛烈です。実にパンチがきています。

賢明なあなたでも、少しは動揺をなさるでしょうか。

子どもが万引をした。それは親が万引をするからだーとい

うのは極端かもしれませんが、子どもはいろいろなところで大勢の人の影響を受けて大きくなります。特に親や友人の影響は大きいのです。私たち大人はよその子どもの前でも、一人一人がしっかりとしなければなりません。

幕別の大人一人一人が、みんなそろって子どもの健全育成に関心を持ちましょう。そして出



元気にあいさつをして下校する子どもたち

来ることから手をつけましょう。今、大人が子どものしつけをしつかりとし、過保護から脱皮しなければ、このさき困って泣き面をするのは、その子どもであり、同時にその大人なのですから。

★ みんなの 声



福祉手当の改正の内容は…

「私は現在、重度の障害のため、「福祉手当」を受給しています。四月から制度が変わると聞き大変不安に思っています。改正の内容と手続き方

法をお知して下さい。

(四十一歳・無職)

■お答えします

年齢別に

分けられます

現在、重度の障害のため、日常生活において常時介護を必要とする方に支給されている「福祉手当」は、今年の四月一日から制度が改正されることになっています。今後は「特別障害者手当」と「障害児福祉手当」とに分けられることとなりますが、現行(三月末)で福祉手当を受給されている二十歳以上の方で「障害基礎年金」「特別障害者手当」のどちらも支給されない方については、現行の「福祉手当」が引き続き支給されますので、ご心配はいりません。

「特別障害者手当」に該当する方は、二十歳以上の方で重度の障害(国民年金法一級に該当する障害)

◆ (投書)

町に対するご意見や質問などがありましたら、お寄せください。出来事や体験などでも結構です。

投書には住所・氏名をお忘れなく。匿名ですと返答をお伝えするにも連絡のしようがなくて困ります。広報紙に掲載するときには、匿名希望とお書き添えいただけますし、秘密は守ります。

■あて先……本町130番地 総務部企画調整課広報広聴

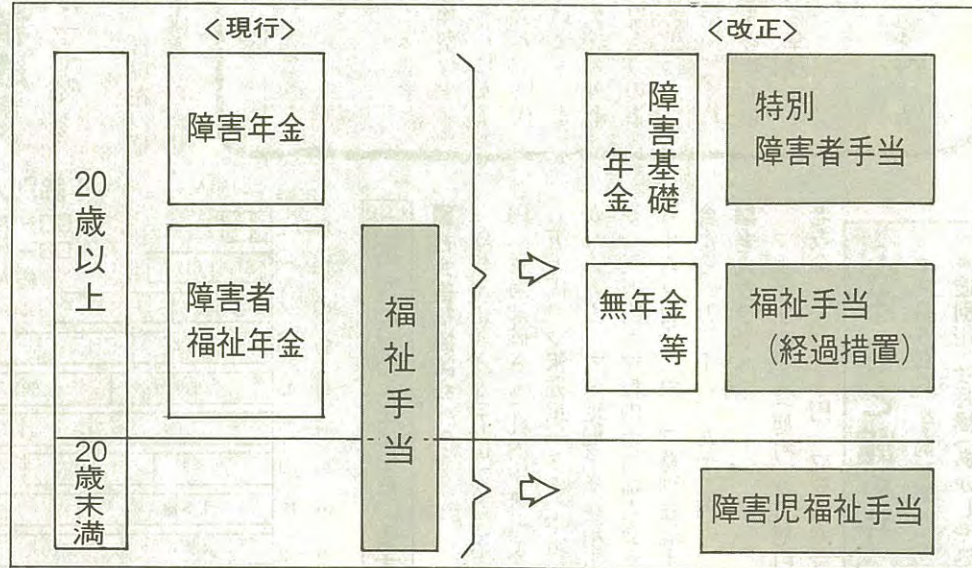
を二つ以上持っている方、または、それと同じ程度の状態にある方が対象になり年金の有無や種類にかかわらずなく支給されることとなります。

この「特別障害者手当」の手続きは、役場民生課福祉係で受け付けておりますが、申請書、医師の診断書、印鑑が申請には必要となります。

診断書については、病名ごとに専門医の診断書が必要となりますので「福祉手当」を受給されている方も新たに提出しなければなりません。

なお、「障害児福祉手当」については、「福祉手当」とほぼ同じ内容で支給されます。

現在、支給されている「引き続き」「障害児福祉手当」に該当する方については、特別な手続きの必要はありません。これらの手当(福祉手当・特別障害者手当・障害児福祉手当)は、社会福祉施設に入所している場合や、所得が一定の基準を超えた場合など、支給されない場合がありますので事前に福祉係にお尋ね下さい。



手当の支給は、従来は年3回(四月・八月・十一月)でしたが、改正後は、二月・五月・八月・十一月の四期にそれぞれ前月までの分が支給されることとなります。制度改正の詳しい内容は、役場民生課または、支庁社会福祉課にお尋ね下さい。

(総務部民生課福祉係)

近所づきあいを大切に

大切に



えんどう かつお 遠藤 勝雄さん (54歳)
札幌市文京町37

新町民登場

昨年の十二月に本別町の仙美里から来ました。息子の職場が帯広ということや、嫁いだ娘があかしゃ町にいたいことなどの理由でこの地を選びました。私も主な仕事場が駒島の道有林なので、通勤が楽になりました。

仙美里は本別と足寄の間ぐらいにあり、冬の寒さはこちらより厳しい所でした。農業大学の近くに自宅があったのですが、四十年間住み慣れた地だっただけに、こちらへ移る決心をするのは大変でした。

こちらは思っていた以上に静かでいい環境ですね。妻もバスの利用が便利なので喜んでいきます。物価も安いような気がします。近所づきあいを大切にしながら、一日も早く地域に溶け込みたいですね。

最優秀に苧坂さん

児童生徒健全育成の標語

町児童生徒健全育成推進委員会

では、家庭教育の大切さを内容とした標語を募集していましたが、三月十四日に選考委員会が開かれ、入賞作品が決まりました。

◇最優秀賞

苧坂喜美子さん(相川)

◇優秀賞

豊島善江さん(札内泉町)

育つ子の心のカギは親が持つ

浜野日出男さん(札内春日町)

◇佳作

家庭とはあたたかい食卓から花

地域に信頼される学校に

13

ひと

江陵高校校長

杉山 昭彦さん (53歳)

江陵高校が幕別町札内の依田にある高台に移転して、ちょうど一年。三月五日には、新校舎になってから初めての卒業生を送りだしました。その江陵高校の校長が、杉山昭彦さんです。

◇

「校舎を移してから、気のせいかもしれませんが、生徒が明るくなったようです。広大な環境と新築になった校舎のせいかも知れませんがね。」

三月五日には江陵高校としての第一期生六十名が巣立ちました。社会に出て行く彼らに、自分にきびしくあれの言葉を贈りました。

開く 柏木邦子さん(札内中央町) 親である自覚が摘みとる非行の芽 加藤明正さん(札内青葉町) あとでより今が大切親子の会話 砂田多美子さん(相川)

子の努力認めて励ます良い家庭 中井佳代子さん(相川) 親子子どもに伝えるよいしつけ 鎌田佳子さん(相川)

年齢別人口構成

六十歳以上が十七%

昭和六十一年三月一日現在の幕別町の年齢別人口構成がまとまり

二十一世紀の中心となる彼らには、他人を理解できる国際人になってほしいと願っています

◇

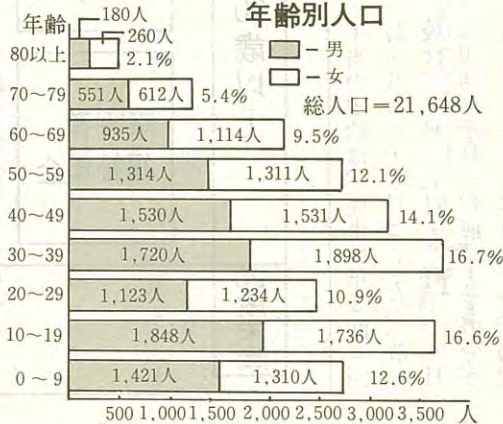
「江陵高校になってから、進学と就職に分けた本格的な類型コース制です。今年度からはさらに女子にワープロ教科をとり入れ、時代にあつた教育を考えています。また私立では数少ない一クラス四十五人定員を生かした、温もりのある教育に力を入れたらと思っております。先生方が熱心にやってくれた通学指導や生活指導を今年も続けて、地域に信頼される学校にしたいですね」

◇

昭和八年生れ。奥さんと子ども二人の四人暮らし。

ました。特に目立つのは、全人口に対する六十歳以上の人口の割合で、昭和五十年には一一・六%でしたが、今回は一七%になりました。

年齢別人口



「ご寄付ありがとうございます」

■社会福祉協議会へ:

▽村田正義さん(五位)から三万円
▽阿部確さん(札内中央町)から五万円
▽沢井重一さん(本町)から二万円
▽菊地麗子さん(相川)から三万円
▽糠内市街婦人会からオムツ百十三枚
▽幕別技能士会から一万三千六百九十二円

■老人クラブへ:

▽土屋庄吉さん(旭町)から旭町老友会へ一万二千元
▽札内寿会

へ亀山博さん(札内中央町)から三万円、阿部確さん(札内中央町)から五万円、▽村田正義さん(五位)から糠内老友会へ三万円、▽菊地麗子さん(相川)から相川西薬寿会へ一万円

■その他:

▽阿部確さん(札内中央町)から身体障害者福祉協会十勝支部幕別分会へ三万円
▽村田正義さん(五位)から特別養護老人ホーム札内寮へ三万円、南幕別新生活改善推進委員会へ三千元
(二月十五日~三月十七日分)

故石田勝市さんの遺族からステージ幕の寄贈

昨年十二月に不慮の事故で亡くなられた石田勝市さん(当時町文化協会会長)の遺族から、町民会館の地下ホールにステージ幕の寄贈がありました。



二川教育長に目録を渡す石田ハナ子さん

ふるさと館のサケ放流

●4月6日(日) 午前11時から
●途別川(吐月橋)あかしや処理場横

日曜日です。家族連れでおいでください。